



損壊した町道6号と西ノ谷川

下岡 憲国 議員

平成30年7月豪雨



質問(議員) 西ノ谷川流域では、犠牲者も出た。護岸崩壊や農地への土砂流入など被害甚大である。地元は災害前に547名の署名で知事宛てに早期の砂防ダム整備を陳情した。災害後、議員有志で県土木建築局長へ要望も行った。町長はどのように対処するつもりか。

答弁(町長) 昨年3月のレッドゾーン指定以来、国や県に早期着手を要望してきた。災害後も知事に要望した。引

Q 西ノ谷川砂防ダムの早期整備の推進を
A 知事に要望しており、今後も強く働きかける

き強く強く推進する。

質問(議員) 町の避難指示に従って行動した住民は少なく、避難者の多くは家には危ないと自己判断した時、行動を開始している。指示手法の改善が必要ではないか。

答弁(町長) 今回災害の避難行動に関する住民調査を行い、結果を踏まえて早めの避難を推進する。

その他の質問

- 庁舎移転は
- 中学校給食は

大高下 光信 議員

平成30年7月豪雨



質問(議員) 現在の復旧状況は。

答弁(町長) 瀬野川左岸の町道2号線や唐谷川右岸の町道8号線・9号線、三迫川左岸の町道6号線など応急復旧を進め、道路幅員の減少する区間はあるが、概ね町全域で通行止め規制を解除した。町道3号線のひまわり大橋、九十九橋間については、現在、河川管理者である広島県が応急工事を行っている。串掛林道については本復旧する

Q 現在の復旧状況について

A 概ね町全域で通行止め規制を解除した

ため、今年度末頃の工事を予定している。

質問(議員) 三迫川など川にたまった土砂の撤去計画について。

答弁(町長) 県道矢野海田線より下流の三迫川は、県が9月末を目途に完了する。三迫川上流及び唐谷川は、本町が9月上旬から、順次土砂の撤去を実施。



早期の土砂撤去を



日本共産党中央委員会からの義援金を渡す佐中・岡田

佐中 十九昭 議員

災害時の避難と対応



質問(議員) 町民に指示を発令しても理解できていない。今回の実態をどのように活かし子どもにも分かるように改善をする必要があるかどうか。

答弁(町長) 避難情報発令時の呼びかけには、広報誌、チラシ折込、自治会などで説明し、引き続き住民の理解向上のため改善する。

Q 避難指示が分かりづらい

A 分かりやすく改善する

Q 復旧・復興計画は

A 災害復旧・復興本部を設置

質問(議員) 復旧・復興計画の作成とその年次計画はどうするのか。

答弁(町長) 災害復旧及び被災者生活再建支援を推進する。

広島県が施工する事業は、早期に実施するよう、9月3日、広島県知事に要望書を提出した。

その他の質問

- 介護・医療は

一般質問

町政を問う

「一般質問」とは、議員が町の行政全般にかかわるさまざまなテーマについて、町の方針や町長の考えなどを聞いたものです。一般質問は年に4回開催する定例会ごとに行います。平成30年9月定例会においては、13人の議員が24項目の質問を行いました。ここでは、各議員の質問の要旨をご紹介します。(全文については、町議会ホームページの「会議録」に掲載します。)



会議録へのQRコード

